

丸山湿原群保全の会会報

(第 218 号)

発行日：2025 年（R7）9 月 17 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788

090 - 1895 - 8061（今住）

E-mail:maruyamashitugengun@gmail.com



戦争は最大の環境破壊と、差別を生み出します！

8 月末より稲刈りが始まり、あっという間に終盤を迎えようとしています。その間スコールっぽい雨も。刈り取りしていない稲は見事に「倒伏」していきます。こんな時は機械が故障して、農機具屋さんが走り回るものなのですが…意外に見かけない。機械が更新され性能がよくなったか、大型化もか？もしくは降雨量が少なかったため、田んぼ自体が硬く締まっていたので「倒伏」でもそれほど機械の負担にならなかった？まだしばらく稲刈りは続きます。

さて、うちのようなクラシカル（クボタ SR J3）な機械はどうなることやら。ヒヤヒヤものです。米の単価はあがっていい感じ（作り手サイドの感想）…でも機械を買うと大赤字。中山間農業は**持続不可能**かも。発想の転換で「飯米」以外の付加価値付き（プレミアム付き？）の米作りへ！賛同者は？？？

今年は収穫量は多い気がしますが、高温障害（乳白粒＝シラタ）がどれだけ出るか？水のあった田んぼは管理さえしっかりしていれば大丈夫でしょう。水不足の天水田は「シラタ」ならぬ「白穂（シラホ）＝不稔米」に。世の中と同じで差が激しい。そんな田は放棄田になっていきます。実はそんなところが生物多様の宝庫なんです。作ってもできないから作らなくなる。「棚田百選」に選ばれていても放棄田になる時代。宝塚（西谷）には選ばれた棚田はありませんが。圃場の大規模化、集約化が叫ばれる一方、水田生態系は風前の灯。

町からやって来て「農業をやりたい」（事業ベースではなく）という人は、多くが「有機栽培」をやりたいと言います。ぜひ放棄田（畑にもできます）を借りるなり、買うなりしてください。今は農地取得のハードルが下がっています。「放棄田は面白いよ～特に山際の田んぼは！」と無責任なことを言ってますが、今は SNS でなんでも情報が得られます。慣行栽培でやっている現地の農家さんより、うまく作る人も多い。逆に教えてほしいくらいです。ただ、水の権利や地元との付き合いはちゃんとやる必要あり。それも文化と考えると楽しむつもりで。ぜひぜひお越しください。その小さな農業が「水田生態系」や「農村文化」を守っていくかも？

といっても私は窓口ではありませんので悪しからず。

（今住 9 月 15 日作成）

サギソウ開花数調査 ★サギソウ開花数調査 8 月 23（土）13 名（オブザーバー2 名含む）

前回の活動日から「ヒヤヒヤ」していたサギソウ（鷺草）開花数調査です。「減少は必至」と思っていたのですが、なんと！なんと！なんと **1139 株の開花**を確認！神戸新聞でも紹介していただきました。

2009 年 8 月 22 日 1256 株以来の 2 番目の開花数です。前回記載した各地域の開花も順調で、開花が約 10 日前後遅れているようです。過去最高というところも多かった？10 年前はこの時期が最盛期だったみたい



本当に貧弱なサギソウ

ですが・・・高温で開花が早まる傾向に。ところが今年は遅れる。植物もタイミングを見計らっているのか？「戦略」がないと生き残れない。花の咲くメカニズムは不思議です。

ちなみに最近の研究で「イシモチソウ」の開花メカニズム？について面白いデータが。(神戸大学)なんと「2日前の気温が同調開花を引き起こす」雨でも、晴れでも、気温が低くても2日前の気温が支配。「天気がいいので、今日は咲いてるはず」と思って見に行っても「えっ？咲いてない」の理由が何となくわかりました。論文は執筆中か・・・がんばってください。

サギソウです。花は多いのですがやはり水不足と高温（これはプラス要因？）の影響か、花茎が短く大株は少ないようです。昨年も同じようなことを言っていました。慢性的な水不足。水域（しみだし量）の減少が影響しているのかも。森林化も進みやすくなっているようです。又マガヤもですがススキの繁茂も増えています。

参加者が今年は少なく、13名。うち途中参加のオブザーバーが2名。うれしいことに、数年前の「両生類セミナーと卵塊数調査」（私骨折中でコロナ下）に来てくれた



サギソウカウント 説明中

「神戸動植物環境専門学校（KAP）」の学生さんも2名参加してくれました。しかも「阪急バス」を利用して。（阪急バス西谷路線は残念ながら2027年3月で廃止だそうです。問題だ！）その他一般参加は1名。

昨年は「たからづか ECO 講座」の皆さんが参加で賑やかでしたが、今年はしっとりと。しかし「暑い」のは変わらず。

皆さん自分を信じ、同調圧力に耐えながら自分の



遠くを見つめてカウント中

カウントをしっかりと取ってくれました。ありがとうございました。サギソウ開花数は丸山湿原の指標の一つと考えています。今後も咲き誇ることを願ってやみません。ご興味のある方は来年ご参加ください。HPなどで密かに募集をしています。もちろん会報でもご案内。

この日は終了後、ヒナノシャクジョウ（雛錫杖）やホンゴウソウ（本郷草）を観察。興味のない方には「なに？どこ？」の世界ですが、これもあればホッとする植物。たくさんあるはずのキセルアザミ（煙管薊）も、遅れているのか水不足か花茎が上がってきません。心配。ヘビも昆虫も少ない。暑さを避けているのか？

しかし湿原へ向かう途中でシマヘビ（縞蛇）を、帰りにはなんと、死んでいましたがシロマダラ（白斑）をKAPの学生さんが見つけてくれました。シ



「幻の蛇」 シロマダラ

2025 サギソウ開花数調査結果

丸山湿原エコミュージアム推進協議会
(実施団体 丸山湿原群保全の会)

調査結果 (丸山湿原群 第1湿原のみ実施)

調査日: 2025年8月23日(土) 猛暑日? 曇り

平均 少数切り捨て (11名で観測 総参加数は13名)

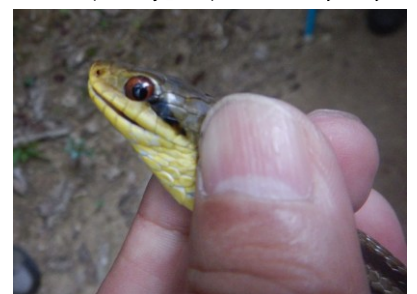
区 画 号	開花株数 2025.8.23	備考	(参考) 2024.8.10	(参考) 2023.8.20	(参考) 2022.8.20	(参考) 2021.8.22	(参考) 2020.8.16	(参考) 2019.8.18
1	0	最北	0	0	0	0	0	0
2	1		0	0	0	4	17	5
3	167		106	26	49	37	55	20
4	216		125	151	144	79	109	49
5	258		128	112	25	62	180	88
6	151 (12)	(小湿地)	72 (0)	125 (4)	170 (0)	121 (3)	219 (6)	143 (7)
7	133		40	64	147	117	168	114
8	131		60	156	201	117	119	125
9	83	最南	27	63	104	71	77	86
計	1139		558	697	840	608	944	630

(参考) 2018.8.18 434株 2017.8.19 339株 2016.8.20 103株 2015.8.19 363株

2025年度 総開花株数 1139株



やっと見つけたホンゴウソウ



シマヘビは目が赤い

ロマダラは夜行性でめったに見ることができません。「幻のヘビ」とも。私も初めて見ました。結構いるのか？それとも気候の変化で発見例が多くなったのか？色々不思議です。ちなみにシマヘビは目が赤い。気が荒いので、手を出すときはご注意ください。



とうせんぼの枯れコナラ



手鋸で切断その後撤去

枯れ木は虫やコゲラの棲家・餌場にもなっていますが事故だけは・・・

それともう一点。最近ナラガレの木が突然倒れてくる。ナラガレはほぼ終息していますが、枯れたコナラ（小楷）が芯も含めて耐えられなくなっているようです。雨により水分を含み重量が増える？人は巻き込まれてはいないようですが、武田尾では県道に突然枯れ木が倒れて電線を切断し停電。丸山湿原エリアでもハイキング道を歩いていると「目の前に倒れてきた」など物騒な連絡が入ります。枯れ木はアカマツ（赤松）、サクラ（桜）など多数あります。「枝落ち」も含めご注意ください。ヘルメット被ってハイキングも無いですが・・・「五感・第六感？」も含め総動員してお楽しみください。

ハイキング道を塞ぐコナラはこの日、手鋸で処理。進入路付近の枯れサクラは県？（西谷自治振興）が処理されています。（まだまだありますが・・・）

定期活動 ★基礎調査 9月13日（土） 9名で調査

目的	市内	市外	場所	時間	気温【水温】	電気伝導（EC）	PH
丸山	57	52	入口	10：05	27.8℃		
ハイキング・登山	20	71	第3湿原	10：40	28.6℃【25.8℃】	※ $\mu\text{S}/\text{cm}$	5.3
散歩	7	0	視点場	11：05	30.6℃	23.9 $\mu\text{S}/\text{cm}$	5.3
来場者数計 207 人 （竹筒ポスト集計）			第1湿原	11：20	32.6℃【28.0℃】	※ $\mu\text{S}/\text{cm}$	5.1
			第2湿原	11：10	℃【℃】	$\mu\text{S}/\text{cm}$	

※ ECは信憑性なし。若者はギックリ腰で第2湿原までたどり着けず！

いつまでたっても涼しくなりません。今だ最高気温 35℃があちらこちらから聞こえてきます。

朝晩は少し涼しくなったとはいえ、やはり気象庁も認める「異常気象」。東京でも洪水が起こっています。ま～「家康」が湿地を埋め立てた所。浸水して当たり前のような気もしますが・・・

異常は丸山湿原でも。自然現象ではなく人と機材。なんと農繁期に「ギックリ腰」でコルセットとストックを持って参加する若者？（相対的年齢）機材はEC（電気伝導度計）が異常な数値を。記載できません。最初に第3湿原で計測。なんと7.9 $\mu\text{S}/\text{cm}$ という数値をたたき出しました。信じられず2度目。5.54 $\mu\text{S}/\text{cm}$ ！！なんと「純水」に近づいていってではあ～



これは簡易 PH 計



竹筒ポスト 外すのに手間取ります

りませんか。普段機材のメンテナンスに使っている「精製水」でも3とか5とかの数値。雨水でも20を下回ることはないと思います。

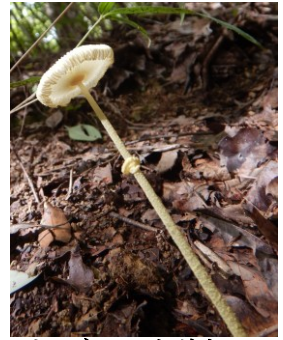
「絶対故障」と断言。高い機材なのでメーカーに聞いてみよっと。実は今使用中の機材は既に製造中止。セル（計測するセンサー部分）だけでも4万円！昔の簡易タイプに戻すのも手か？それもやっぱり3.5万円・・・悩ましい。視点場（今回は水あり）での計測時のみ23.9という「あってもおかしくはない」数字が出ました。ちゃんとメンテ

ナンスしてるつもりなんですけど…2017 年購入です。その時は 8.7 万円。今同じスペックの物を買うと 10 万越え？



牡丹のようなツブイボタケ？

そんな話はさておき、この日は最近の雨でキノコがたくさん出ていました。ひょっとするとマツタケは当たり年か？地元の皆さんは「雨も少なく、高温、赤松枯れまくりで出るはずがない！」とおっしゃいますが、この世界、「秘密第一」子にも出る場所を教えないとか。



キツネノハナガサ？



まだ初期のノウタケ？

今年は今まであまり見ないキノコが出ています。ツブイボタケ（粒疣茸）、キツネノハナガサ（狐花笠）、ノウタケ（脳茸）など。

全て種名は推測です。全く信用しないこと。見て楽しむ分には問題ありませんが、おいしそうなキノコでも食べる場合は自己責任で。食べないことを強く推奨します。分かりやすいものもあるのですが…。

湿原内ではシロホシクサ（白星草）が咲いていました。やはり秋近し。サギソウも遅かったせいか、それとも「水を得た魚」ならぬ「水を得たサギソウ」で乾いていた斜面でかなりの数が地味に咲いていました。アギナシ（顎無）の実も大きくなっていました。イソノキ（磯の木）もたわわに実を付けて「食べごろ」。酸味が少なく少々物足りない感じが結構甘い。和製ブルーベリーですが、ジャムの作り方はネットでは確認できず。向いてないのかも。同じ仲間のナツハゼ（夏櫨）はジャムに。これは酸味が強くピカイチ。



星の形 シロホシクサ



アギナシの実



イソノキ 実がたくさん

予告 ★11月1日（土） 丸山湿原セミナー×西谷の森公園自然史講座

申し込みは 10 月 1 日から

お問い合わせ・申し込み
宝塚西谷の森公園
宝塚市境野字保与谷14-1
TEL/ 0797-91-1630
Fax/ 0797-91-1631
E-mail info@nishitaninomori.jp

無料 定員 40名

えっ！伊丹にいるの？
川西にもいる、猪名川にもいる、三田にもいる。
で、宝塚には？

西谷小学校では、昔飼育されていた…なぜ？

（共催）丸山湿原エコプログラム推進協議会
宝塚市 宝塚西谷の森公園
兵庫県立「宝塚西谷の森公園」
兵庫県版神北県民局
丸山湿原群保全の会

講演テーマ
「宝塚（西谷？）にオオサンショウウオは今もいる？」

西谷の森公園自然史講座

丸山湿原セミナー

日時 11月1日（土） 10時～12時

場所 兵庫県立宝塚西谷の森公園 多目的室

講師 大沼弘一さん（兵庫県自然保護協会 調査部長）
松田和美さん（兵庫県自然保護協会 調査員）

昨年は実施しなかったセミナーを「西谷の森公園」とコラボして実施します。今回のテーマは「宝塚のオオサンショウウオ」。

私が子ども時代（1970 年代）西谷小学校ではオオサンショウウオが飼育されていました。花壇でミミズを捕まえ投げ込むとバクリ！棒でつついて噛みついてくるのを怖がりながらも楽しんでいました。特別天然記念物オオサンショウウオと知らず…。法律違反です。小学校の「黒歴史」なのかもしれません。（怒らないでね）

その後そのコは保護されてどこかに行ったとか。現在情報を集めています。ご存知の方はご連絡を。意外に身近な生き物だったのかもしれません。

近隣のオオサンショウウオを追い続けておられる「兵庫県自然保護協会の調査部長と調査員」のお二人に、「本当にいる？」を中心にお話ししていただきます。河川生態系の頂点オオサンショウウオを知れば、水辺環境が見えてくるかも。申し込みは 10 月 1 日から。「西谷の森公園」まで。

次回活動日 9月27日（土）ツアー 10月11日（土）26日（日） 11月1日（土）セミナー